

だがしや楽校@東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会

開催日：2011年7月17日（日）

場 所：山形市立東沢小学校体育館（山形市防原町）

主 催：東沢リーダー育成会

共 催：東沢地区子ども会育成連合会

東沢地区青少年健全育成連絡協議会

《はじめに》

第8回“東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”が、山形市内（ gandopark、東沢小学校体育館）にて、2011年7月16日（土）から17日（日）にかけて、一泊二日の日程で開かれました。

山形市街地の東の端っこ、山形県庁から東へ2kmほどのところが東沢地区です。周囲は南北から山が迫っており、自然豊かな場所でもあります。仙台市へ向かう国道286号線が通り、山形市を代表する河川・馬見ヶ崎川（上流にあたります）も流れています。

ここで毎年この時期に開かれているのが“東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”です。この研修会の趣旨は「東沢地区の子どもたちが一同に集い、活動の情報交換、交流を通じ友情を深め、心身を鍛えるとともに、ジュニアリーダーとして資質の向上のため活動内容・方法等を研修し、子ども会および地域等の活動の充実振興を図るとともに、次の世代のリーダーを育成する」としています。

今年で7回目となった“東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”には、東沢地区内の小学生と中学生の35名が参加しました。

この研修会は、ジュニアリーダーにとっては、単なる研修ではなく、実際に子どもたちをリードしていくという体験学習の場にもなっています。また、小学生の子どもたちにとっては、将来のジュニアリーダーに向けて、ジュニアリーダーを知る場にもなっていると感じました。それを“集団生活”の中で学ぶのが“東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”です。

この“東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”のプログラムに“だがしや楽校”が取り入れられました。研修会では、ジュニアリーダーを中心に子どもたちによる屋台（おみせ）が出され、地域の人たちを招いて“だがしや楽校”を開きます。つまり、“だがしや楽校”での屋台（おみせ）の準備から実践までの体験を通して、リーダーシップを実践しながら学ぶのです。

昨年は、2日間にわたり、泊まりがけで、東沢の人たちと交流を深めながら取材しましたが、今年は別の“だがしや楽校”取材と重なったため、2日目の“だがしや楽校”のみの取材となりました。

東沢の人たちとは1年ぶりの再会ですが、皆さん私のことを覚えてくださいました。特に、体育館の入口でお会いした小学生のお子さんが覚えていてくれたのには、本当に嬉しくなりました。

はじめに、2日間の研修会のプログラムをご紹介します。

1日目の7月16日（土）は、朝8時30分からの開会式でスタートし、オリエンテーション、研修1：KYT（危険予知訓練）、テント設営、班別会議、流しそうめん、川遊び、ドラム缶風呂、夕食（カレー）、だがしや楽校準備、ほたる鑑賞などが行われました。

そして、2日目の17日（日）は、午前6時の起床後、ラジオ体操、朝食（パン）、だがしや楽校準備、だがしや楽校と進み、正午からの閉会式で終了というプログラムです。1日半にわたり、ビッシリ詰まったプログラムです。

それでは、“だがしや楽校@東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”をご紹介しますしょう。

▼オープニングセレモニー

午前10時からのオープニングセレモニーで“だがしや楽校”がスタートしました。司会は子どもたちが務めています。



▼バルーンアート



今年も育成部部長の遠藤さんが先生になってのバルーンアートです。子どもたち同士で教え合ったり、おかあさんから教えてもらったりと、いろんな風景が見られました。



▼折り紙・工作



折り紙による風車・紙のブーメラン・竹トンボならぬ紙トンボなど工作を楽しむおみせです。子どもも、大人も、世代を越えて楽しんでいました。

▼エコバッグ作り



好きな絵を描いて、自分だけのエコバッグを作ります。描いた絵は、しっかりプリントしますので、はがれ落ちることはありません。

▼当てクジ



今年も開きました大人気“当てクジ”のおみせ。何が当たるか、子どもたちは興味津々です。

▼駄菓子屋

当てクジ屋さんの隣りが駄菓子屋です。ここでは本物のお金で駄菓子を販売しています。



子どもたち自身が値段を付けて販売します。高すぎると買ってもらえないし、安すぎると利益が出なくなります。子どもたちにはビジネス体験の場でもあります。

▼紙芝居

“だがしや楽校@東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”では名物になっている子どもたちによる紙芝居です。紙芝居は2つのグループに分かれて、午前10時30分と午前11時からの2回行いました。写真は“たべもののナゾ”という紙芝居です。好きなモノだけでなく、バランス良く食べましょう、というお話です。



写真に写っている“だ が し や 楽 校”の看板は、東沢の人が作られた木製のモノです。意外に知られていませんが、“だ が し や 楽 校@東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”は、山形県内では最も歴史のある“だ が し や 楽 校”のひとつであります。



“だ が し や 楽 校”が始まりますと、暑いにもかかわらず、地域の子どもたち、親子連れ、家族連れが集まりました。そして、地域の人同士の交流が深まっていきました。

私（山口）が“だ が し や 楽 校@東沢地区インリーダー・ジュニアリーダー育成研修会”を取材して毎回感じることは、ジュニアリーダーを育成するために、“だ が し や 楽 校”が活用されていることです。つまり、人財育成・人づくりのために“だ が し や 楽 校”が活かされているのです。

「自分みせ」がキーワードである“だ が し や 楽 校”は、究極の人財育成・人づくりのアイテムなのです。自分を「みせ（見せ・店）」するには、自分を知ることから始まります。そして、自分を磨いていくことで、自分をみせることができます。

自分をみせることができるから、ジュニアリーダーとして活動していくことができるのです。

このことをしっかり学ばれ、“だ が し や 楽 校”を理解された東沢地区の方々は、自信を持って研修に“だ が し や 楽 校”を活用しているのです。

そういう自信が子どもたちにも伝わり、素晴らしい“だ が し や 楽 校”になっているのです。

それは、研修会に於けるコンセプトがあり、それに対する“だ が し や 楽 校”の位置付けが明確になっているからです。

企画・制作・編集・文責

山口充夫（だ が し や 楽 校コーディネーター）